

1. 修士課程

【1】 修士課程修了の要件（大谷大学大学院学則第 17 条）

修士課程を修了し、修士（文学）〔教育・心理学専攻は、修士（教育学）〕の学位を得るためには、本学大学院修士課程に2年以上在学し、**所定の単位を修得**し、かつ必要な研究指導を受けた上で**修士論文を提出**し、その審査及び最終試験に合格することが必要です。

《修士論文》 評価基準

1. 研究目的・研究対象が明確であり、研究方法が適切であるか。
2. テキスト・資料の扱いが的確かつ厳正であるか。
3. 基本的先行研究を踏まえているか。
4. 興味深い考察を展開し、新たな知見を提示しているか。

【2】 修了単位

単位は15時間から30時間までの範囲で、本学が定める時間の授業に対し、講義・演習・文献研究ともに1単位として計算します。課程の修了単位は下記のとおり学則に定められています。

【修士課程(教育・心理学専攻以外の専攻)】 科目履修単位表 **[2015年度以降入学生適用]**

区分	集計先コード	最低履修単位数	科目名
基礎科目	11000	2	仏教の視点
	11010	2	専攻交流演習Ⅰ
専攻科目	11110	8	特殊研究（演習）
選択科目	11121	4	特殊研究（論文指導）
	11122	14	専攻科目中の「特殊研究（演習）」以外の科目及び選択科目
学位論文	12100	—	修士論文
合計		30	
外国語認定	20099	—	
文学部開講科目	21000	—	

【修士課程(教育・心理学専攻以外の専攻)】 科目履修単位表 **[2005年度以降 2014年度以前入学生適用]**

区分	集計先コード	最低履修単位数	授業科目名
基礎科目	11000	2	*1 「仏教の思想」
	11010	4	「基礎研究（文献研究）」
主要科目	11110	8	*2 「特殊研究Ⅲ（演習）」
関連科目	11122	20	各専攻主要科目中の「特殊研究Ⅰ（講義）」・「特殊研究Ⅱ（文献研究）」及び「関連科目」
学位論文	12100	—	修士論文
合計		34	
外国語認定	20099	—	
文学部開講科目	21000	—	

* 1 「仏教の思想」は、2015年度から「仏教の視点」に変更しました。

* 2 「特殊研究Ⅲ（演習）」は、2015年度から「特殊研究（演習）」に名称を変更しました。

【修士課程(教育・心理学専攻)】科目履修単位表

区分	集計先コード	最低履修単位数	授業科目名
基礎科目	11000	2	*1 「仏教の視点」
	11010	4	「教育学総論(講義)」・「心理学総論(講義)」
専攻科目	11110	8	「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」
選択科目	11122	18	専攻科目中の「教育・心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ」以外の科目及び「選択科目」
学位論文	12100	—	修士論文
合計		32	
外国語認定	20099	—	
文学部開講科目	21000	—	

※ 2014年度以前入学生は、区分欄の「専攻科目」を「主要科目」、「選択科目」を「関連科目」と読み替えてください。

* 1 「仏教の思想」は、2015年度から「仏教の視点」に変更しました。

【3】履修計画

(1) 履修体系

【2015年度以降(教育・心理学専攻以外の専攻)入学生適用】

修士課程のカリキュラムは、基礎科目・専攻科目・選択科目の3つの科目群からなり、それぞれに必修単位数(履修条件)が設定されています。

◎基礎科目(4単位)

基礎科目は、「仏教の視点」(2単位)と「専攻交流科目」(2単位)からなり、それぞれ修了要件として課されています。いずれも第1学年に履修してください。

◎専攻科目(8単位)

修了要件でいう専攻科目とは、指導教員の「特殊研究(演習)」をいい、各学年において4単位(2年間で8単位)履修することによって必要単位数は充足されます。

◎選択科目(18単位)

選択科目は、「特殊研究(論文指導)」(4単位)と専攻科目の「特殊研究(演習)」以外及び選択科目の中から14単位を2年間で履修してください。(第3章「6. 学術交流について」「7. 安居を正規授業に認定」も参照のこと。)

なお、本学博士後期課程への進学を考えている方は、選択科目の「語学文献研究」の単位を履修するよう心がけてください。

【2014年度以前入学生及び教育・心理学専攻学生適用】

修士課程のカリキュラムは、基礎科目・主要科目・関連科目の3つの科目群からなり、それぞれに必修単位数(履修条件)が設定されています。

(2015年度教育・心理学専攻入学生は、「主要科目」を「専攻科目」、「関連科目」を「選択科目」と読み替えてください。〔(2)第1学年での履修単位数〕も同様。)

◎基礎科目(6単位)

基礎科目は、*1 「仏教の思想」(2単位)と各専攻の「基礎研究(文献研究)」[教育・心理学専攻は「教育学総論」又は「心理学総論」](4単位)からなり、それぞれ修了要件として課されています。いずれも第1学年に履修してください。

* 1 「仏教の思想」は、2015年度から「仏教の視点」に変更しました。

I. 履修要領

目的	教育目標および教育方針
教育研究目的	各専攻の人物養成の目的
	各専攻の目的と目標
修了要件及び開講科目表	修士課程
	博士後期課程
聴講登録	開講科目表
	単位修得の認定
聴講登録・成績評価	聴講登録
	授業時間
成績評価	試験
	学術交流について
規程集	安居を正規授業に認定
	大谷大学学位規程
規程集	大谷大学大学院履修規程
	大谷大学大学院長期履修学生制度規程

II. 資格の取得

教職課程

真宗大谷派教師課程

巻末
科目担当者一覧表

◎主要科目（8単位）

修了要件でいう主要科目とは、指導教員の*2「特殊研究Ⅲ（演習）」[教育・心理学専攻は「教育・心理学特別研究」]をいい、各学年において4単位（2年間で8単位）履修することによって必要単位数は充足されます。主要科目として開講されている「特殊研究Ⅰ（講義）」「特殊研究Ⅱ（文献研究）」の履修単位については、関連科目の単位として取り扱います。

*2 「特殊研究Ⅲ（演習）」は、2015年度から「特殊研究（演習）」に名称を変更しました。

◎関連科目（20単位）[教育・心理学専攻は18単位]

関連科目は、指導教員の指導に従って、上記の主要科目（8単位）以外および関連科目の中から20単位[教育・心理学専攻は18単位]を2年間で履修してください。（第3章「6. 学術交流について」「7. 安居を正規授業に認定」も参照のこと。）

なお、本学博士後期課程への進学を考えている方は、*3「外国文化文献研究」の単位を履修するよう心がけてください。

*3 「外国文化文献研究」は、2015年度から「語学文献研究」に名称を変更しました。

（2）第1学年での履修単位数

【2015年度以降（教育・心理学専攻以外の専攻）入学生適用】

第1学年では、専攻科目の指導教員の演習「特殊研究（演習）」（4単位）、基礎科目の「仏教の視点」（2単位）、および「専攻交流科目」（2単位）を含み履修するよう心がけてください。

【2014年度以前入学生及び教育・心理学専攻学生適用】

第1学年では、主要科目の指導教員の演習[教育・心理学専攻は「教育心理学特別研究」]（4単位）、基礎科目の「仏教の思想」（2単位）、および所属する専攻の「基礎研究（文献研究）」[教育・心理学専攻は「教育学総論」又は「心理学総論」]（4単位）を含み履修するよう心がけてください。

【長期履修許可者について】

長期履修（3年計画・4年計画）許可者は、修了所要科目の履修登録単位について、下記のように制限があります。（2016年度から制限する単位数が変更になっています。）

<3年計画>

1年目	2年目	3年目
16単位まで	16単位まで	制限なし

<4年計画>

1年目	2年目	3年目	4年目
12単位まで	12単位まで	12単位まで	制限なし

資格取得に関する科目等の履修については、修士課程修了に支障がない範囲で指導教員と相談のうえ、計画的に履修してください。

長期履修期間については、在学中1回に限り期間を短縮することができます。（延長はできません。）期間短縮を希望する場合は、教務課まで相談してください。

（3）修士論文の提出

修士論文を提出するには、本学修士課程に1年以上在学し、当該学年中に、修了に必要な単位をすべて履修しうる見込みであることが条件となります。

（4）進級

第1学年において、無単位もしくは在学期間が1年に満たない場合は、原級留置となります。